

原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合（第1067回）
島根原子力発電所第2号機に関する指摘内容

<工事計画認可申請（補正）の対応状況／説明工程について>

- 防波壁の設計結果の確認が後ろ倒しになるため、説明工程どおりに説明することで進めるのであれば、これまで以上に効果的・効率的な資料を準備すること。
- 前々回の会合から第6回及び第7回で補正する図書数が2倍になっており、資料提出が後ろ倒しになっているものの、説明工程は資料提出の遅れ分後ろ倒しにはなっていないが、説明工程の実現に向けて実効的な対応をとること。

<工事計画認可申請（補正）に係る論点整理について>

【1-2】建物・構築物の地震応答解析における入力地震動の評価

- 隣接建物の影響評価については、今後ヒアリングにて先行サイトと同様に3次元FEMモデルを用いた説明をすること。その際、隣接建物が評価対象建物の応答に与える影響が大きく、設計への考慮が必要となるような場合においては、ヒアリングではなく審査会合で隣接建物の影響評価結果について説明すること。

【1-5】漂流物衝突荷重の設定

- 衝突実験と事業者が実施した衝突解析における衝突荷重の時刻歴波形の相違について、その要因を整理したうえで、事業者が実施した衝突解析で得られた衝突解析が保守性を有していることを説明すること。
- 衝突実験で用いられた総トン数2トン船舶について、土木学会式に基づいて算出した軸剛性を用いてFEMA（2012）による衝突荷重と実験結果との比較を行い、総トン数19トン船舶におけるFEMA（2012）による衝突荷重と衝突解析結果の関係を整理して説明すること。

【1-8】設計地下水位の設定

- コメントなし

【1-9】防波壁（逆T擁壁の改良地盤の解析用物性値）

- 「3. 実施工での「品質確認における管理目標値」の確認」について、施工の状況を踏まえ、今後説明する防波壁の説明に合わせて審査会合で説明すること。

【1-6】機器・配管系への制震装置の適用（三軸粘性ダンパ）

- 三軸粘性ダンパを設置した配管系の地震応答解析手法として、種々の解析手法の中か

らモーダル時刻歴解析を選定した理由や各解析手法のメリット・デメリットを整理したうえで、補足説明資料にまとめてヒアリングで説明すること。

【4-1】配管系に用いる支持装置の許容荷重の設定

- ロッドストレイントのばらつきに対する考慮について、補足説明資料にまとめてヒアリングで説明すること。

以 上